



国際平和創造拠点の形成を目指して



シンポジウム「戦後80周年の沖縄から国際平和を考える」登壇者の方々

シンポジウム

「戦後80周年の沖縄から国際平和を考える」を開催

県の戦後80周年平和祈念事業の取組の一つとして、国際平和を考えるシンポジウムを6月24日に開催しました。

シンポジウムでは、国際連合事務次長（軍縮担当上級代表）の中満泉氏と、日本原水爆被害者団体協議会（2024年ノーベル平和賞受賞）代表

委員の田中重光氏による基調講演のほか、パネルディスカッションでは玉城知事も登壇し、国際平和のために一人ひとりに何ができるか、活発な議論が交わされました。

玉城知事は、「万国津梁の精神で恒久平和の実現に貢献する役割を果たしたい」と述べ、沖縄県として、戦後90年、100年を見据え、世界の恒久平和に貢献することを目指していく考えを示しました。

中満事務次長および田中代表委員は、シンポジウムでの登壇のほか、戦後80年沖縄全戦没者追悼式への参列や国立沖縄戦没者墓苑での献花、沖縄県平和祈念資料館などの視察を行いました。

濟州4・3犠牲者追悼式への出席

今年4月3日に韓国濟州特別自治道の濟州4・3平和公園にて開催された「濟州4・3犠牲者追悼式」に溜知事公室長が出席しました。同追悼



濟州4.3犠牲者追悼式の様子

式には、濟州4・3事件の遺族をはじめ、国務総理などの韓国政府および濟州道関係者のほか、多くの濟州道民が出席し、犠牲者を悼みました。

濟州4・3事件は、1948年4月3日から約7年間にわたり、韓国の濟州島で発生した武力衝突と弾圧事件で、住民を含む多数が犠牲となりました。

沖縄県は、同事件の記憶の継承や真相究明、平和教育等を目的に設立された濟州4・3平和財団との交流を通して、相互地域における平和発信に取り組んでいます。

問い合わせ

平和・地域外交推進課

電話：098-894-2226

読者の声（美ら島沖縄8月号）

表紙

● 綺麗な表紙だなと取ったら、「美ら島沖縄」だったのでびっくり。とても良い。

● 桃色、紫、綺麗な色味で目を惹きました。毎回、楽しみに拝見しています。

特集：沖縄こどもの未来県民会議

● 子どもの貧困を無くすために、私もなにかできることはないか考えてみます。

Fun Fan Local「国頭村」

● 国頭村に公民館がこんなにあるとは知らなかった！

県の動き3：沖縄国際海洋博覧会50周年記念事業

● 海洋博覧会からもう50年。時の経つのは早いと実感しています。当時、海洋博と言えばアクアポリス！まさにシンボルでした。写真が懐かしく、いろいろその頃を思い出して、楽しく読ませていただきました。

情報ひろば

● 色々な情報が盛りだくさんで、とても参考になりました。

取り戻そう！健康長寿おきなわ

● 年齢を重ねると、健康に関して敏感になるので、子どもの頃から食生活について学べるのは良いと思う。

今後取り上げてほしい内容

● 小さい離島や他の市町村情報なども知りたい。

● 若者の活躍なども取り上げてほしい。

「美ら島沖縄」のバックナンバーは、県のホームページをご覧ください。



美ら島沖縄

「美ら島沖縄」のアンケートに回答いただいた内容から一部抜粋して掲載しています。アンケートについては、10ページをご覧ください。